

環境と農林業を守るため、ジビエ処理加工施設の有効利用を！



質問者
田代 実 議員



足柄上郡5町の広域で整備されるジビエ処理加工施設は、令和3年度に予定していましたが建設資材の高騰によって財源不足となり、令和4年度に繰り越しすることになり厳しい状況にあります。しかしながら、この足柄上郡の環境と農林業を守るためには、大切な整備事業であり完成後の有効利用が大きなポイントと考えますので、次のことについて町長のお考えを伺います。

(1) 今回の繰り越しによる財源確保についての上郡4町との調整内容

(2) 施設整備後の管理運営と財政支援

(3) 地域の特産品として鹿肉や猪肉の販売に関する支援

足柄上猟友会へ施設運営を委託

A



回答 (町長)

(1) 総事業費は補正で900万円を加え、3900万円となる。国の交付金は繰越して、増額分は4年度に新たに追加申請をする。県補助金は3年



松田町 ふるさと納税

度分を取下げ、翌年度に再度申請を行い特定財源を確保する。

また、上郡4町とは協定書に基づき、利用実績に応じ翌年度負担となっている。

(2) 足柄上猟友会への事務委託を検討している。加工施設の運営が軌道に乗るまでは、委託料により財政支援を行う。

一方、加工施設の名称には、多くの方が親しめる愛称について命名したい。

(3) 食肉の質の安定と向上・量の確保を行い、J A直売所や小田原・箱根の事業者への売込み、ふるさと納税返礼品などについて、5町一丸となつて支援する。

令和4年度当初予算について



質問者
井上 栄一 議員



本山町政3期目の第一歩となる令和4年度当初予算案が上程されました。そこで、次の項目について伺いたします。

(1) 当初予算についてどのような考え方・目標をもって編成されたのか。例えば当初予算概要の中で示された「町民と行政が協働していくための予算」というものか。

(2) 消防費において「松田分署建替えのための土地購入費2億円」が新規計上されているが、この事業に対する考え方は。(3) 令和4年度予算を執行するにあたり、契約に対する考え方は。以上、伺いたします。

町内に消防分署を再整備し町民の安心感を

A



回答 (町長)

新たな消防松田分署の用地は、町が購入し、小田原市消防に無償貸与する。

松田町に配置されて来た歴史的な背景と町内に常備消防があることへの町民の安心感や寄地区への対応など町民感情を踏まえ松田町が用地を確保することは当然のことと考え、2億円の負担をすることとした。

土地購入の上限である金額として予算で示したが、議会で認めてもらった予算で土地の交渉をしていきたい。

老朽化し建替えが予定される消防松田分署

